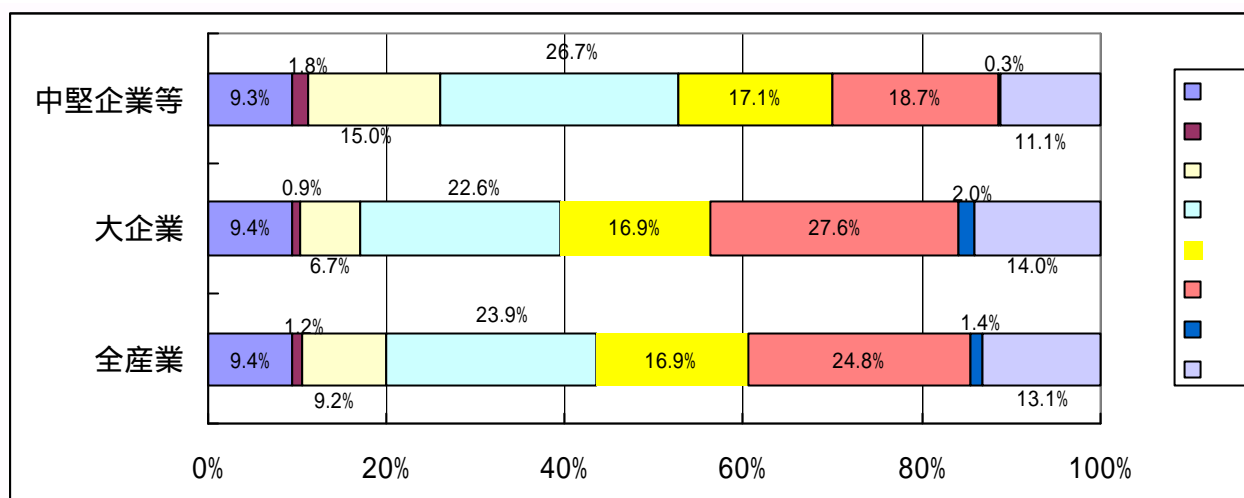


(3) 資金調達環境について

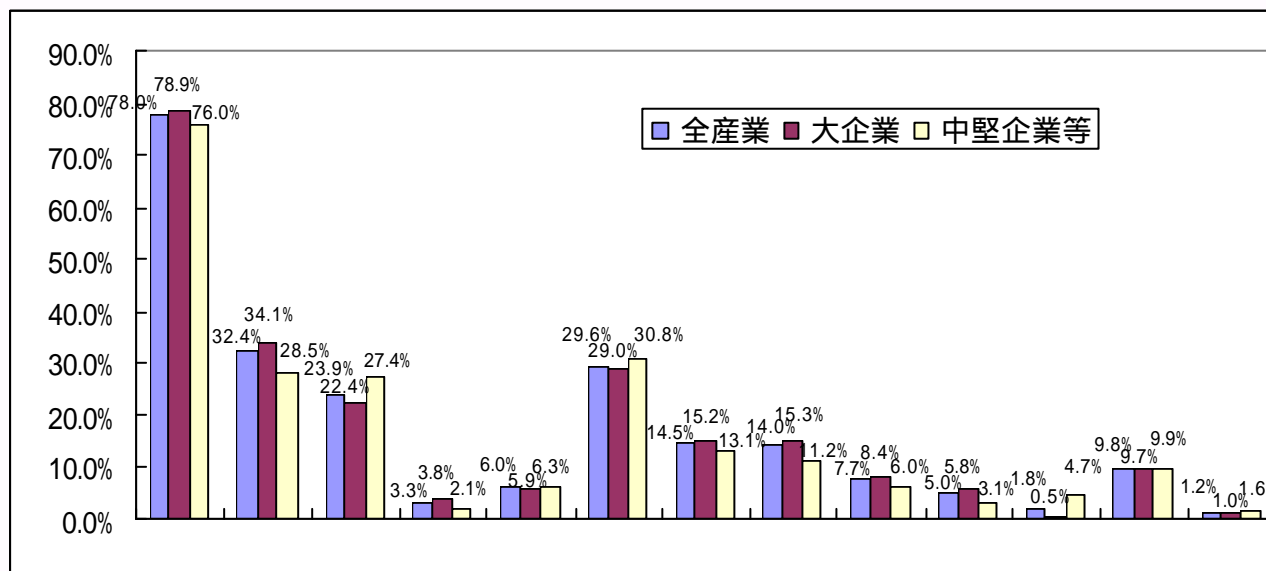
a. 借入残高の見通し



設備投資計画等があり新規の借入を行うため借入残高は増加する
 増産・増販により運転資金の借入を行うため借入残高は増加する
 生産・売上の低迷が予想され運転資金の導入が必要となるため借入残高は増加する
 約定返済程度の借り入れにとどめるため、借入残高は変化しない
 新規に借り入れは行わず約定返済のみとなるため、借入残高は減少する
 借入金の積極的な圧縮方針をとっており借入残高は減少する
 銀行等からの借入調達から、社債や新株発行による直接金融での調達に移行する
 計画にあり、借入残高は減少する
 間接金融は利用していない

b. 金融機関からの資金調達に関する要望事項

(複数回答)



より効率的な条件(金利、期間等)での資金の供給

貸出金利や預金金利、手数料体系等に関する横並び体質の見直し
 過度の物的担保、担保徴求、保証人徴求の見直し

知的所有権の担保化等新たな金融商品の開発

事業審査能力の向上

融資に関する手続きの簡素化

相互参入の促進、業務範囲規制の緩和による金融機関間の競争促進

不良債権の早期処理

金融機関自身によるリスク管理体制の強化

銀行等によるディスクロージャーの充実等を通じた

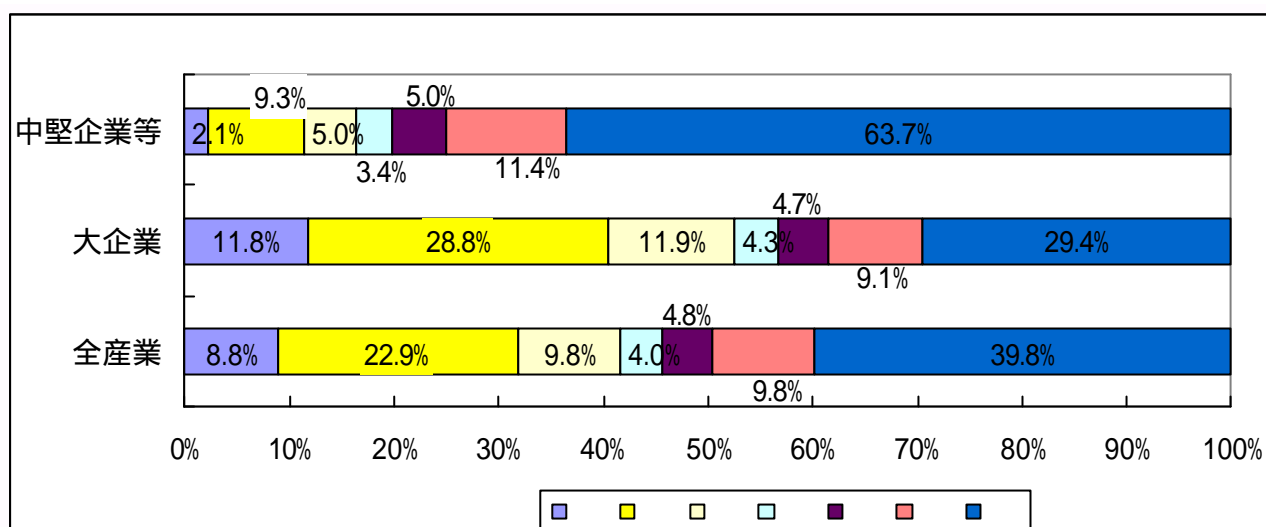
市場チェックの強化

資本金5億円未満の企業へのコミットメントラインの提供

特にない

その他

c . 直接金融による資金調達に関する方針



既に直接金融調達を行っており、今後も積極的に活用する

既に直接金融調達を行っており、今後も現状程度の利用を行う

現在利用はしていないが、今後利用する

現在利用しているが、今後は消極化する

利用したいが、割高な手数料や市場の未整備等により、現在は利用していない

利用したいが、会社規模、信用力の点から現在は利用できない

現在も今後も利用する意向はない